

第17回 KYC SPRING REGATTA 2012
オープンヨットレース
SAILING INSTRUCTIONS

1. 適用規則

- 1-1 The Racing Rules of Sailing 2009-2012 (RRS) に定義された「規則」
- 1-2 NOTICE of RACE と SAILING INSTRUCTIONS に矛盾が生じた場合は SAILING INSTRUCTIONS を優先する。
- 1-3 艇は水中にごみを捨ててはならない。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、レース本部（関西ヨットクラブ）前に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 出艇申告

出艇申告は3月25日（日）09:00-09:30にレース本部にて行うこと。

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、3月25日（日）09:00までに掲示される。

5. 陸上で発する信号

- 5-1 陸上で発する信号は、出艇申告受付開始前から抗議受付締切時刻の間、レース本部前のポールに掲揚される。
- 5-2 AP旗が音響2声と共に掲揚された時は（降下の時は音響1声）、「レースは延期された。予告信号はAP旗の降下後30分以後に発せられる」ことを意味する。これはレース信号、AP旗を変更している。
- 5-2 Y旗が陸上で掲揚された場合、レースのためハーバーエリアから出港後、レース後ハーバーエリアに帰港する間すべてに規則40を適用する。これは第4章前文を変更している。

6. レースの日程

平成24年 3月25日（日）	09:00～09:30	受付、出艇申告（資料で艇長会議に替える）
	10:50	クラスA（IRCクラス）予告信号
	10:55	クラスB（KYCレーティングクラス）予告信号
	15:00	タイムリミット
	16:00	表彰式パーティー

7. クラス旗

クラスAはグリーン旗、クラスBはKYCクラブ旗を用いる。

8. レースエリア

大阪湾西宮沖水域。

9. コース

別紙コース図参照。

10. マーク

各マークは、トマト型ブイを使用する。（色は別紙コース図に記載）

11. コミッティーボート

本部船には、KYCレスキューボート「シーブリーズ」、マークボートには、KYCレスキューボート「はまかぜ」を使用し、OFFICIAL旗を掲揚する。

12. スタート

- 12-1 レースは、規則26に従ってスタートする。
- 12-2 スタートラインは、コミッティーボートのオレンジ旗を掲げたポールとアウトサイドリミットマーク（緑色）との間とする。
- 12-3 スタート信号の10分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。これは付則A4を変更している。

13. リコール

リコールは、規則 29.2 により信号が発せられる。

14. ゼネラルリコール

14-1 ゼネラルリコールは、規則 29.3 により信号が発せられる。

14-2 ゼネラルリコール後の再スタートは、原則として 10 分後を予定する。

14-3 先にスタートするクラスがゼネラルリコールになった場合、後のクラスのスタートは順次繰り下げられる。

15. フィニッシュ

フィニッシュラインは、コミッティーボートのオレンジ旗を掲揚したポールとフィニッシュマーク（緑色）との間とする。

16. タイムリミット

タイムリミットは 15:00 とする。タイムリミットまでにフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった」と記録される。これは規則 35 と A4 を変更している。

17. コース短縮

17-1 レースコミッティーは、コースの短縮を行うことがある。

17-2 コース短縮の場合は、S 旗を掲揚したコミッティーボートと直近のブイの間をフィニッシュする。

18. 帰着申告

帰着申告は、16:00 までにゼッケンを返却すること。

19. 抗議

19-1 抗議は、レース本部で入手し得る書式に記入の上、レース終了後 30 分以内に提出すること。

19-2 抗議は、できるだけ早く、ほぼ受付順に審問される。

19-3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切後 30 分以内に掲示される。

20. 得点

レーティングに各種ボーナス係数を加算した TCF を艇の所要時間に乗じた修正時間により順位を決定する。修正時間は秒単位までを計算し（少数点以下四捨五入）、同一修正時間の艇がある場合は、レーティングの小さい艇を上位とする。

21. 失格に代わる罰則

規則 44.2 の 2 回転ペナルティーを適用する。

22. 安全規定

22-1 Y 旗並びに規則 27.1 の変更として、レースコミッティーはスタート後、個人用浮力体の着用を求める信号（反復音響信号と Y 旗の掲揚）を発することがある。この信号は艇が次のレグに入る前に発せられ艇はできるだけ早い機会に個人用浮力体を着用しなければならない。

22-2 レースからリタイアした艇は、できるだけ早くレースコミッティーに伝えること。

23. 賞

社団法人関西ヨットクラブ杯 第 1 位～第 3 位

新西宮ヨットハーバー株式会社杯 第 1 位

副賞および飛び賞

24. 責任の否認

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。規則 4「レースをすることの決定」参照。

主催団体は、レガッタに関連した、あるいはレガッタ期間中およびその前後に受けた、物的損傷または個人の傷害もしくは死亡に対する責任を否認する。